

<以下は例文>

2016年 月

様

署名へのご協力をお願い

神奈川県立障害児学校教職員組合  
分会

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、皆様にはご支援ご協力を承り感謝申し上げます。

さて、わたくしども神障教組では、例年障害児教育の充実を目指して署名活動を行っております。今年度も活動を展開しているところですが、多くの学校において、

過大規模化・過密化による教室不足などの問題が切実な状況になり、子ども達は劣悪な教育環境に置かれています。高校の教室を利用した分教室は、高校20校で開設されています。しかし、それでも障害児学校の過大規模化・教室不足は解消されず、しかも生徒数は毎年増え続けており、全県的に教育環境は悪化の一途をたどっています。このような過大規模・過密状況がなかなか解消されない大きな要因として、障害児学校にだけ国による「設置基準」がないことが指摘されています。

私たちの学校においては、・・・

(各校の具体的な問題など記述)

こうした状況を解決するために、ひとりでも多くの方々に署名のご協力をいただき、障害児学校増設などの実現をと思う次第です。

県議会では2008年度の2月定例議会で、障害児学校新設、スクールバス増車、トイレ改修を内容とする「県立養護学校の整備促進と豊かな障害児教育の実現を求める請願」が全会一致で採択され、今年度、えびな支援学校が新設されました。2020年度には横浜北部方面特別支援学校が開校予定、また、湯河原・真鶴地域での分教室建設に向けて検討中とのことですが、県の再編整備検討協議会最終報告が新設の必要性を答申した「11校1分校」にはほど遠いものです。

主旨をご理解いただき、是非、貴団体の皆様方からのご協力を承りたくお願い申し上げます。

尚、署名の際は、県向けと国向けがございますので、両方にご記名くださいますよう、お願いいたします。ご家族などのお名前もお書きいただければありがたいです。お子様や県外の方のお名前でも結構ですので、よろしくお願いいたします。

ご署名をいただいた用紙につきましては、11月末までに同封の返信用封筒にてご返送ください。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具